



**Hewlett Packard
Enterprise**

HPE GREENLAKE メータリングツール 説明資料

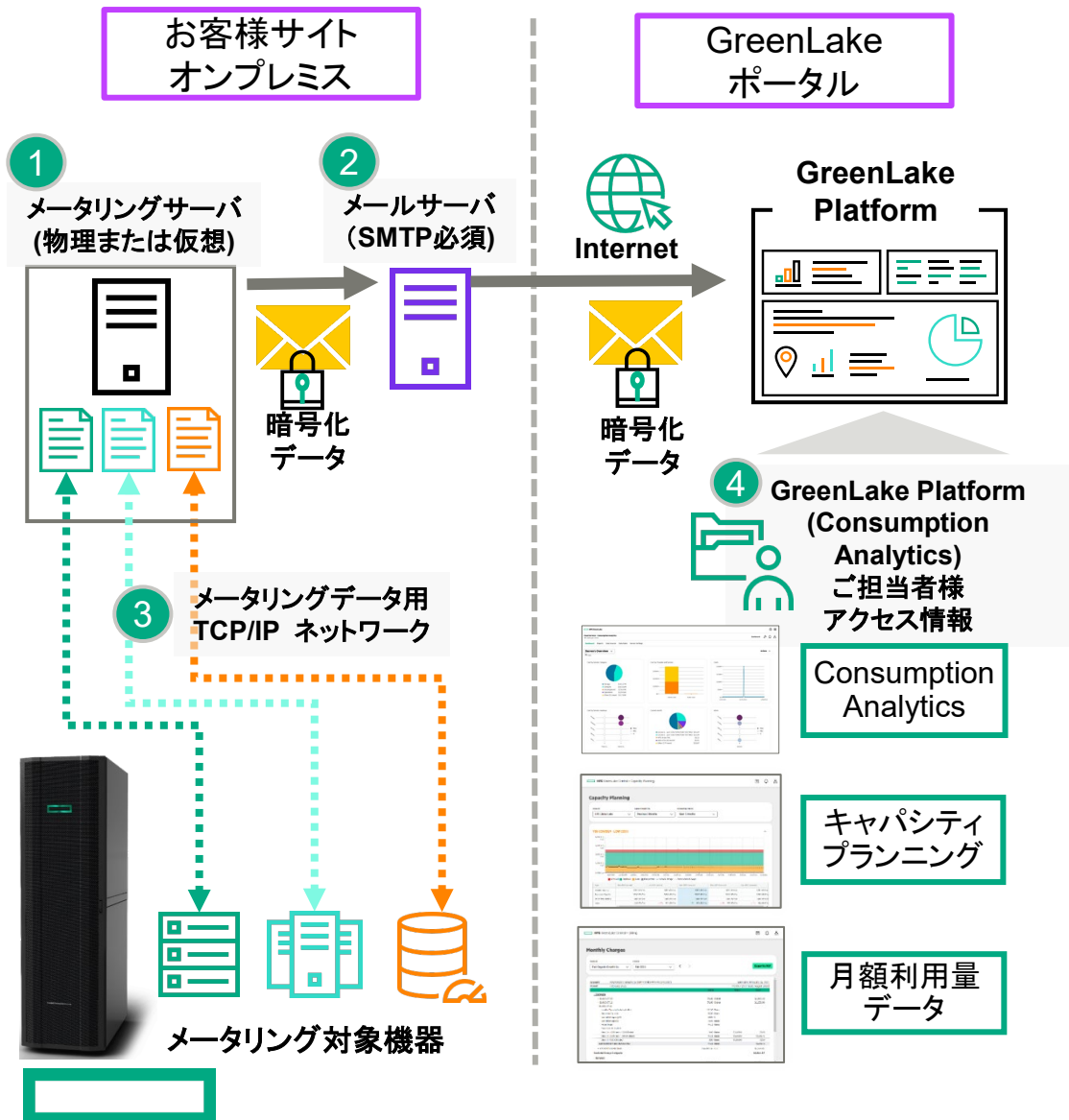


日本ヒューレット・パッカーード合同会社

2024年9月版



HPE GREENLAKEメータリングの仕組み

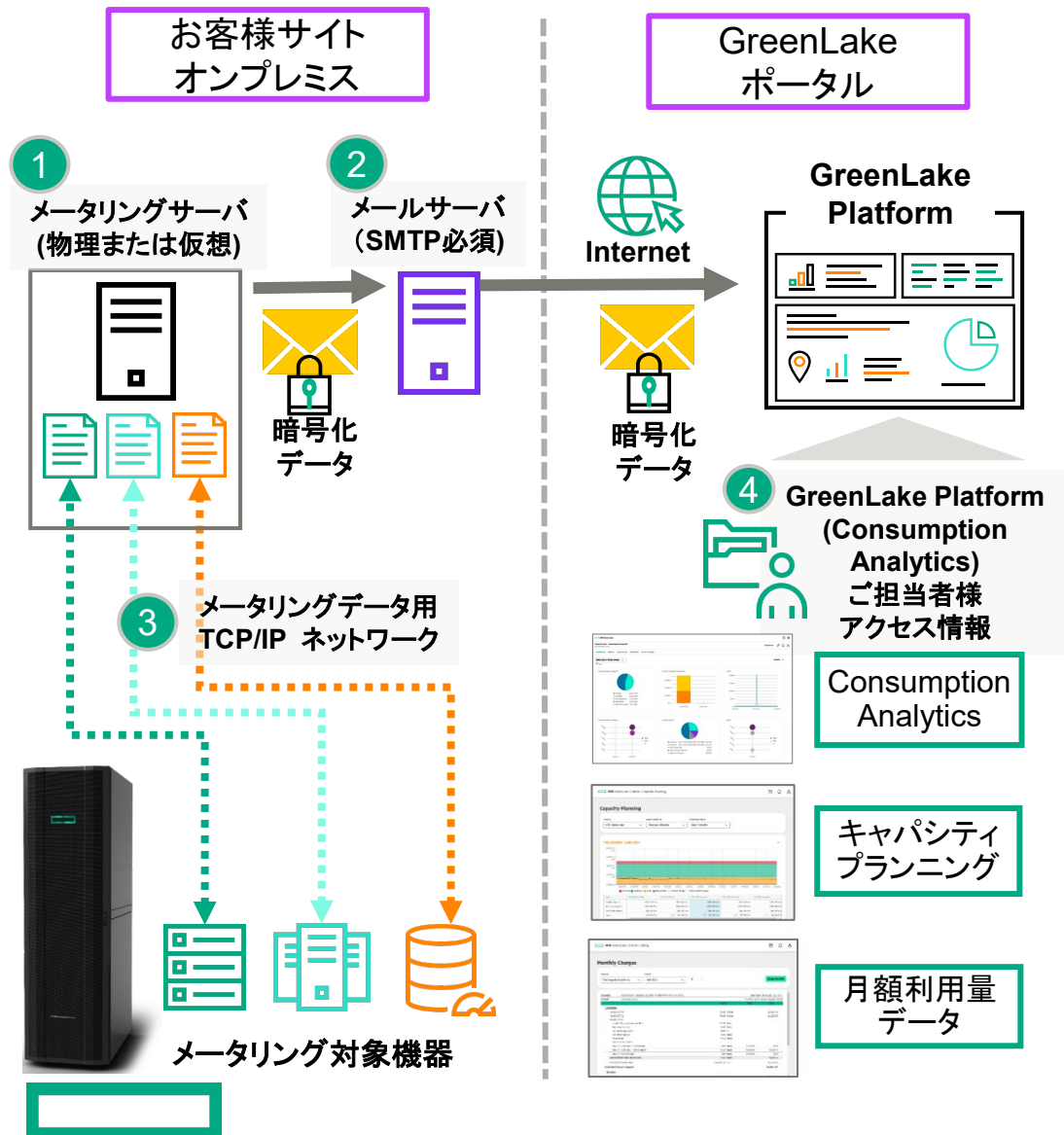


HPE GreenLakeは、弊社メータリングツールにより対象機器の利用量を測定します。

- お客様サイトのメータリングサーバ(物理または仮想)にメータリングソフトウェアをインストールします。
- メータリングソフトウェアは基本MS PowerShellスクリプトから構成されています。
- メータリングはエージェントやサービスがインストールされず、OSレジストリも変更されません。
- メータリングソフトウェアは基本的に1日に1回、タスクスケジューラから起動され、対象機器の管理ツールにアクセスし使用量データをメータリングサーバへ収集し、データを暗号化(AES256)した後にHPEへメールで送信します。
- 暗号化されていない全てのファイルは、いつでも収集された生データを確認できるように、メータリングサーバー内に残されています。データは暗号化(AES256)され、HPEへEメールで送信されます。

Consumption Analyticsなどポータルへの接続には、メータリングツールの導入が必要です。

HPE GREENLAKEメータリングに必要なお客様サイトの環境をご準備下さい



GreenLake メータリング開始までに、以下 4 点についてお客様サイトの環境をご準備ください。

- メータリングサーバ (物理または仮想)の環境**
 - 右表スペックを満たすWindows サーバー (物理または仮想)
 - Administrator 権限のある Windows Server ユーザー - ユーザーパスワードの変更等がないこと
 - メータリング対象機器との TCP/IP 通信に必要な設定と接続
 - メータリング対象機器の以下に関する情報
 - IP アドレス、製品番号、シリアル番号
 - データ取得用のユーザー名、パスワード等
- メールサーバ (SMTP 必須) の環境**
 - メータリングサーバで使用するユーザーのメールアドレスがあること
 - 既存メールアドレス、新規メールアドレスのどちらもメータリングサーバ用にご利用可能
 - メータリングサーバから以下の条件で HPE へメール送信可能なこと
 - メッセージの添付ファイル形式を変更なく Port 25 を使ったメール送信
 - 以下のメールアドレスへ添付ファイル付きメッセージを送信
 - GreenLake@CoreMetering.ext.hpe.com
 - CoreMetering@hpe.com
- メータリングデータ用 TCP/IP ネットワーク**
 - メータリングサーバが対象機器メータリングデータを収集可能なネットワークがあること
 - ※対象機器の接続プロトコルは次頁をご参照ください
- GreenLake Platform (Consumption Analytics)ご担当者様アクセス情報**
 - ご担当者様氏名 (英語表記)
 - ご担当者様のメールアドレス

表：メータリングサーバ仕様

カテゴリ	内容
CPU	4core 2GHz x1(物理・仮想)
メモリ	16 GB RAM 以上
ディスク	50GB (空き容量) 以上
OS ソフト	64-bit Windows 2016以降 .NET Framework 4.8以降 MS Powershell v7.1以降 Notepad ++ v7.6.3以降 * HANAの場合ODBC Connector

(参考) メータリング対象機器の接続プロトコル一覧

メータリング対象機器	接続プロトコル
3PAR Inserv / Primera RAW	ssh (port 22)
Primera Useable	https (port 443) または https (port 8080)
B-Switches*	SNMP (def.port 161) *GreenLake 新規契約ではメータリング機能非対応
Network switches*	SNMP (def.port 161) *GreenLake 新規契約ではメータリング機能非対応
XP / XP7	HORCM/Raidcom
StoreOnce	https (port 443)
C7000 OA	ssh (port 22)
Server ILO	https (port 443 *)
Moonshot	ssh (port 22)
MSA 1050/2050/2052	Rest API (port 443)
OneView (Synergy)	http または https
Windows per core	Standard WMI Port 135, with dynamic port selection (1024 to 65535)
Linux per core	ssh (port 22)
Nimble group (InfoSight)	https port 5392 (assuming default port in use)
Scality	Rest API (port 443)
StoreVirtual / VSA	ssh (port 22)
VCenter (VMWare)	https (port 443)
VCF SDDC (VMWare)	https (port 443)
MS HyperV	WMI / .Net
Azure Stack	http (port 80) または https (port 443)
Docker	ssh (port 22) または https (port 443)
SAP HANA	SAP HANA odbc connector
Nutanix	https (port 9440)
Simplivity	https (port 443) (see VCenter)
CommVault	http (port 80) (port 81) または https (port 443)
Qumulo	https (port 8000)
Cohesity	http (port 80) または https (port 443)
Veeam	メータリングスクリプトはVeeam Backup & Replication serverへ直接展開されます



(参考) メータリングサーバの要件と注意点について

- メータリングサーバは以下の要件を満たしたものがが必要です。

オペレーティングシステムの要件
MS Windows システム(minimum 2016, 2019,2022)
.NET Framework 4.8 以上
MS Powershell v7.1 or later
Notepad ++ v7.6.3以上
※SAP HANAのとき SAP HANA ODBC connector)

メータリングサーバの要件	物理	仮想
	Processor	1 x 4 core 2 GHz CPU
Memory	16 GB RAM	
Disk	50GB	

- メータリング用Windows Serverのユーザーをご提供いただく必要がございます。メータリングを行うために、タスクスケジューラからコマンドを起動できるAdministrator権限のユーザが必要です。
※「SYSTEM」ユーザはメータリングツールでは未サポートです。
- メータリングの設定のために、対象製品のIPアドレス、プロダクト番号、シリアル番号、対象製品に接続するためのアクセスユーザー名、パスワード等の情報をご提供いただく必要があります。
※これらのパスワードは変更が生じないものをご用意ください。
お客様のセキュリティポリシーによってパスワードを変更された場合、メータリングデータの取得ができなくなります。
- お客様側で特殊なルールを設定することはできません。メータリングに必要な情報を送信できなくなります。
(例:お客様のメールサーバーで独自のルールで更に暗号化を行う等)
- メータリングツール導入後は、メータリングツールを設定したディレクトリパスを変更しないでください。
ディレクトリパスを変更した場合、タスクスケジューラの実行に失敗します。



(参考)メールサーバ及びDNSサーバ

メータリングツール導入前に、お客様にてメールサーバ及びDNSサーバの設定確認をしてください。

- 実際に存在する送信元メールアドレスを使用する必要があります。
- DNSに登録された有効なドメイン名である必要があります。なりすまし防止のためのSPFレコードの登録も必要です。
- 添付ファイルに関して特殊なルールがある場合に、メータリングに必要な情報を送信できない可能性があります。例えば、お客様側のメールサーバで添付ファイルを更に暗号化してしまうとメータリングはできません。

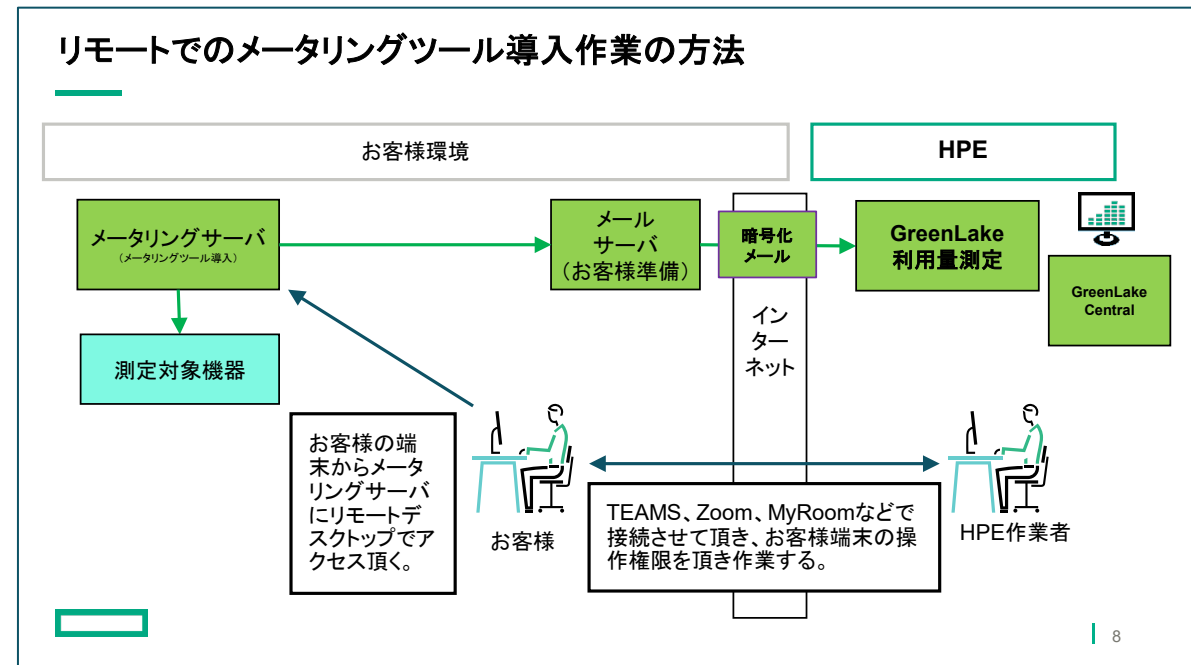


メータリングツールのセットアップ方法について

HPE GreenLake対象機器の納品後、速やかにメータリングツールのセットアップ作業をHPEが実施します。

エクスペリエンスレベル	セットアップについて
HPE GreenLake Standard HPE GreenLake Basic	弊社担当者が現地もしくはリモートから設定します。(リモートの場合はTeam/zoom/MyRoomなどで接続できることが条件となります。)
HPE GreenLake Entry HPE GreenLake Lite	リモートから設定します。Team/zoom/MyRoomなどで接続できることが条件となります。

※収集方法の変更や製品によっては別途ソフトウェアをインストールする必要がある場合がありますので、詳細方法は適宜お問い合わせください。



メールサーバーの動作確認依頼

お客様環境のメールサーバーからHPEへの接続確認をメータリングスクリプト導入前に実施ください。
HPE担当者より、Metering-Pre-Check.ps1をお渡しします。
以下の手順に沿って実施をお願いいたします。

#	手順
1	メータリングツール導入対象サーバーにて、PowerShellから「Metering-Pre-Check.ps1」を実行
2	以下のプロンプトにて、メータリングツールで使用するSMTP情報を入力
a.	Would you want to test SMTP connectivity [Y/N]? : y
b.	Enter SMTP HostName/IP : <SMTPサーバー IP or ホスト名>
c.	Setting SMTP Port to (25): <SMTPサーバーのポート番号>
d.	Enter From Email address : <メータリングで使用する送信元メールアドレス>
e.	Enter To Email address : <XXXXXXXXXX@hpe.com>
3	上記手順実行後、HPE担当者まで実施の旨を報告 ⇒HPE担当者にて、メールが受信する事を確認
4	「Metering-Pre-Check.ps1」が配置されたフォルダに生成される「Metering-Pre-check_<日時>.txt」をHPE担当者に送付いただく



POWERSHELLセキュリティ設定の注意事項

メータリングサーバー上でメータリングツール(PowerShellスクリプト)を実行するために、セキュリティ設定を行う必要があります。

メータリングツール導入時に管理者権限をお借りし、以下のコマンドを実行させていただきますので、予めご了承くださいませようお願いいたします。

コマンド	説明
PS>Set-Executionpolicy RemoteSigned	スクリプトファイルの実行ポリシーをRemoteSignedに変更します。
PS>Get-Childitem . -Recurse Unblock-File	メータリングツール(フォルダ)配下にあるファイルへのアクセスブロックを解除します。



THANK YOU

